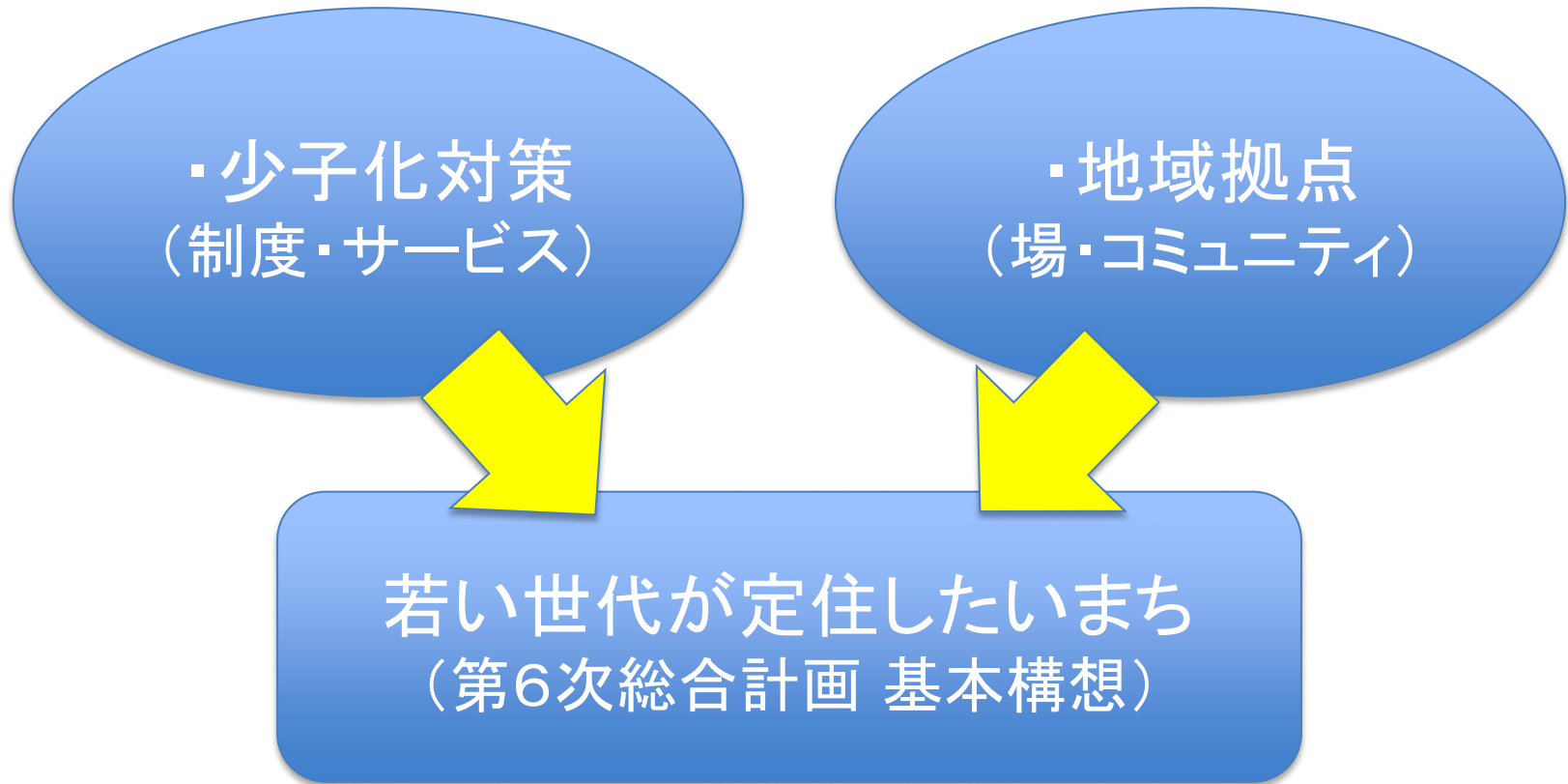


若年定住を進める 少子化対策と地域拠点について



会派：希望の扉 広沢 修司

若年定住の2つの車輪



- ・ 少子化対策と地域拠点づくりを「二つの車輪」として位置付ける
- ・ 若い世代が白井に住み続けたいと感じる条件を整理する
- ・ その実現に向けた庁内体制と標準的な進め方を確認する

白井市の人口・出生の現状と課題

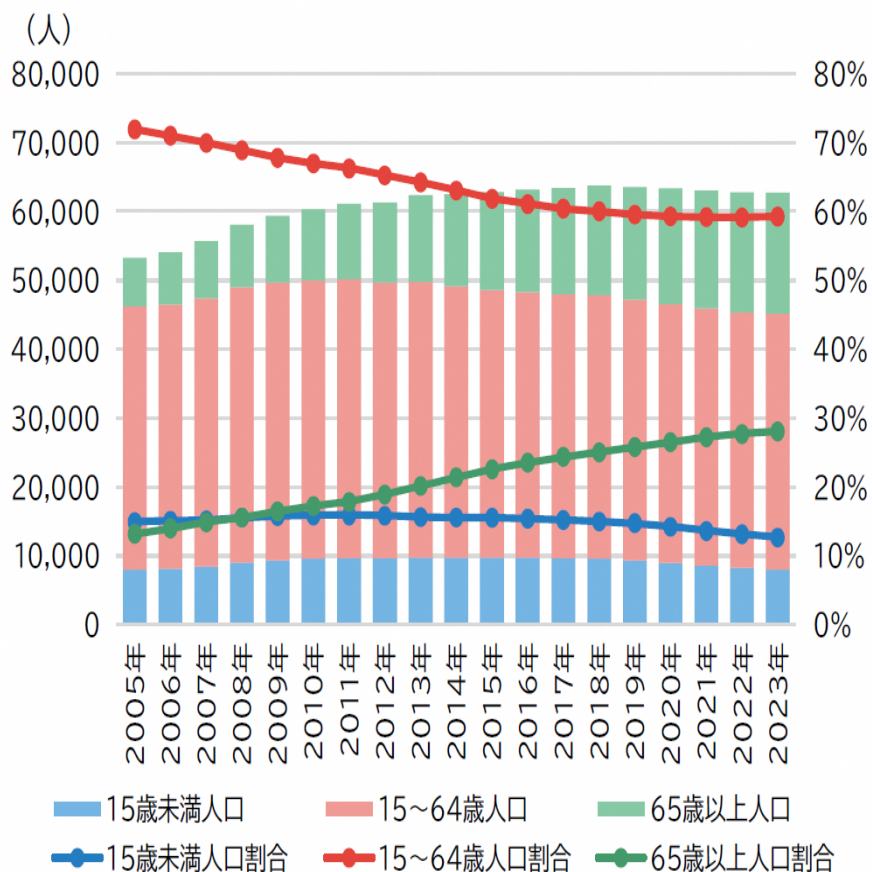


図 白井市の人口推移 (出典)白井市「住民基本台帳」

※ 白井市第2次行政経営指針より抜粋

- 出生数・年少人口は、直近10年間で減少傾向が続いている
- 就学・就職・結婚・出産など、ライフイベントごとに転出のリスクがある
- 「子育て・教育環境が良いから住み続けたい」という声を増やす必要がある

若い世代が定住したいまち

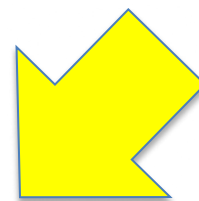
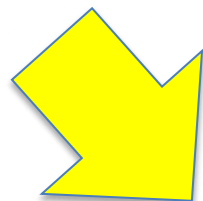
少子化対策・ライフステージ別支援

「妊娠・出産・子育て」
「教育・学び」
「就労・住まい」



「子どもの居場所・学び場」
「多世代交流・地域活動」
「官民連携の拠点運営」

地域拠点・居場所とつながり



市の庁内体制・標準スキーム

官民連携による地域拠点づくりの標準スキーム (イメージ)

地区住民・協議会

- ・将来像の検討
- ・地域課題/資源の整理

事業者・非営利団体

- ・事業構想
- ・資金計画

官民連携拠点の標準スキーム

- ・包括連携協定・三者協定/補助スキーム・企業版ふるさと納税 等
- ・許認可/手続きの整理

市役所

- ・所管課(未来創造戦略室)
- ・庁内調整/審査(横断チーム)

構想共有



制度設計・
協定



実施・検証



横展開・改善

- ・ 個別案件ごとにゼロから議論するのではなく、標準スキームとタイムラインに乗せて進められる体制づくりを提案したい。